



當山 直彦  
議員



### 2025年 地域包括ケアシステム 構築について

**質** 地域包括ケアシステムの一体的取組とは。

**答** 福祉課長 (石川 司)

高齢者が例え認知症や要介護状態になっても、地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けていけるよう、「住まい」「健康作り・介護予防」「生活支援」「医療介護サービス」が一体的に提供されること。

**質** 一体的取組を行う上での課題とは。

**答** 福祉課長 (石川 司)

住民参加による支え合いの仕組み作りと、各関係者の連携強化が課題となっています。

### 地域共生社会について

**質** 地域共生社会が必要とされた背景は。

**答** 福祉課長 (石川 司)

生活様式や価値観の多様化などにより引きこもり、ダブルケアや8050問題など社会的に孤立し、支援に繋がりにくい方が顕在化。これまでの制度や公的サービスでは対応が難しく、制度・分野ごとの縦割りで解決できない複合的な課題や制度の狭間の課題などがその背景となっている。

**質** 本村の現状と課題とは。

**答** 福祉課長 (石川 司)

支援を必要とする方の具体的人数の把握は出来ていない。課題は福祉教育の推進、ソーシャルワーカー等専門職の育成、関係機関の連携強化、住民主体の協議体の構築が考えられます。

**質** 重層的支援体制整備事業とは。

**答** 福祉課長 (石川 司)

児童、障害者、高齢者、生活困窮者といった対象者ごとの支援ではなく、住民が抱える複雑化、複合化した問題、課題に対応するための包括的な支援体制をつくること。



宮崎 匠  
議員

### 長浜村長これからの 将来像について

**質** 次の4年で長浜村長が取り組むこと。

**答** 村長 (長浜 善巳)

若者の定住促進やサンゴの村宣言、SDGsをより強化させた好循環のまちづくり、子育てを支え、高齢者や障害者が安心して暮らせる環境づくり、観光産業から波及効果を生み出す新たな事業構築などに取り組みたいと考えています。



### 福祉教育の 促進について

**答** 福祉課長 (石川 司)

福祉教育は全ての人の生き方に関わる教育活動。福祉分野の充実は一丁目一番地として福祉教育の取組みを継続的に推進します。

**提** ボトムアップとして子供達から発進している福祉と今後トップダウンとして村長始め執行部、議員、区長等から発信する福祉が融合することで本村の福祉の充実が期待されます。



福祉教育 車イスサッカー

め関係機関と連携し6次産業化の推進体制が構築できればと考えています。

**質** 今後、より魅力的で将来性のある農業の実現のためにどのように取り組んでいこうと考えているのか。

**答** 農林水産課長 (宮平 覚)

現在、(株)ONNAの取組を支援しながら体制を構築し、将来的には観光とリゾート地としての立地特性を生かした体験型農場等を含め、6次産業化の推進による魅力的な農業展開ができればと考えています。



おんなの駅一次加工所

### 若者の定住化について

**質** 現在の村営団地の戸数は。

**答** 企画課長 (喜久山 隆)

本村の公営住宅の整備、管理状況として、9団地102戸が整備、管理されています。



福祉教育 当事者講話

**質** 現状の村営団地の戸数で足りているのか。

**答** 企画課長 (喜久山 隆)

周辺市町村と比べていくと少ないと認識しています。定住促進等のアンケート調査にて、村営団地の整備は若者の定住化に寄与でき、今後も整備の検討を進めたいと考えています。

**質** 子供の小学校入学時や中学校入学時の際に入学祝い金として村から支給することも定住化促進につながるかと考えられるが執行部側の考えは。

**答** 福祉課長 (石川 司)

現在、制度設計中である子育て世帯への経済的支援を子育ての節目、多く出費が出るタイミングなどに祝い金を給付していく制度で、仮に恩納村子育て応援給付金支給事業計画という名称で今策定中です。財源確保についても財政当局と協議、調整を続けていく予定です。

**質** 支援についての具体的な金額等の検討は。

**答** 福祉課長 (石川 司)

出産の時期、小学校、中学校、高校の入学、4つの節目の金額において、試算ではあるが、5万円を支給すると、1人当たり20万円になります。それが4世代に毎年給付していくと、1年で約2千万円の試算になり、この2千万円の財源をどう確保するか検討しています。

